

三菱UFJフィナンシャル・グループ

2008年度中間決算ハイライト

2008年11月18日

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定する主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

<本資料における計数の定義>

連結	: 三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）
2行合算	: 三菱東京UFJ銀行（単体）と三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算

● 損益サマリー	3
● 部門別業績概要	4
● B/Sサマリー	5
● 貸出金・預金	6
● 貸出資産の状況	7
● 保有有価証券の状況	8
● 保有証券化商品等の状況	9
● 自己資本の状況	10
● 2008年度業績／配当金予想	11

●業務純益

- 資金利益は外貨調達コスト減少により増加の一方、貸出収益などが減少し、ほぼ横這い
- 役務取引等利益は市場環境の悪化により、投信・保険、証券手数料、不動産を中心に減少
- その他、デリバティブ販売収益などが減少
- なお、証券化商品関連損失はその他業務利益に約▲410億円計上
- 営業費は、統合に伴うシステム関連経費を主因に増加

●与信関係費用

- 中小企業を始めとする取引先企業の信用劣化などにより増加

●株式等関係損益

- 株価下落に伴う株式等償却▲1,452億円により▲752億円の損失を計上。

●中間純利益

- 業務純益の減少並びに与信関係費用、株式等関係損益の悪化により、▲1,646億円減益。

<連結P/L>

(単位:億円)

	07年上期	08年上期	増減
1 業務粗利益 (信託勘定償却前)	17,968	16,965	▲1,003
2 うち資金利益	9,667	9,705	37
3 うち役務取引等利益	5,471	5,050	▲421
4 うち特定取引利益+その他業務利益	2,039	1,538	▲500
5 うち国債等債券関係損益	▲109	113	222
6 営業費	10,614	10,727	112
7 実質業務純益	7,354	6,238	▲1,116
8 与信関係費用*1	▲2,674	▲3,349	▲674
9 (うち2行合算)	▲1,564	▲2,422	▲858
10 株式等関係損益	544	▲752	▲1,297
11 その他の臨時損益	▲248	▲254	▲6
12 経常利益	4,975	1,881	▲3,094
13 特別損益	▲478	6	484
14 法人税等+法人税等調整額	1,934	476	▲1,458
15 中間純利益	2,567	920	▲1,646

*1 与信関係費用=信託勘定与信関係費用(業務粗利益内)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益内)+偶発損失引当金戻入益(与信関連)(▲は費用)

<ご参考>

(単位:円)

16 1株当たり利益	24.76	8.46	▲16.30
17 連結ROE *2	7.90%	2.58%	▲5.32%

*2

中間純利益×2-非転換型優先株式年間配当相当額

{(期首連結株主資本合計-期首発行済非転換型優先株式数×払込金額+期首為替換算調整勘定)

×100

+ (中間期末連結株主資本合計-中間期末発行済非転換型優先株式数×払込金額+中間期末為替換算調整勘定) ÷ 2

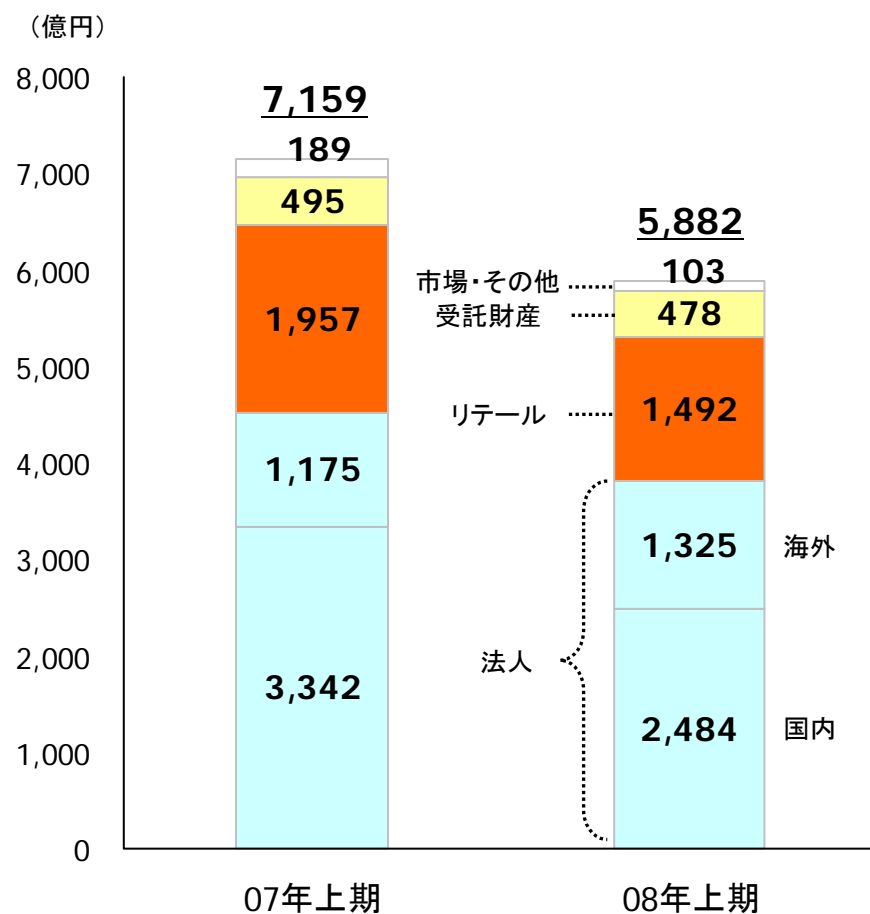
部門別業績概要

【連結】

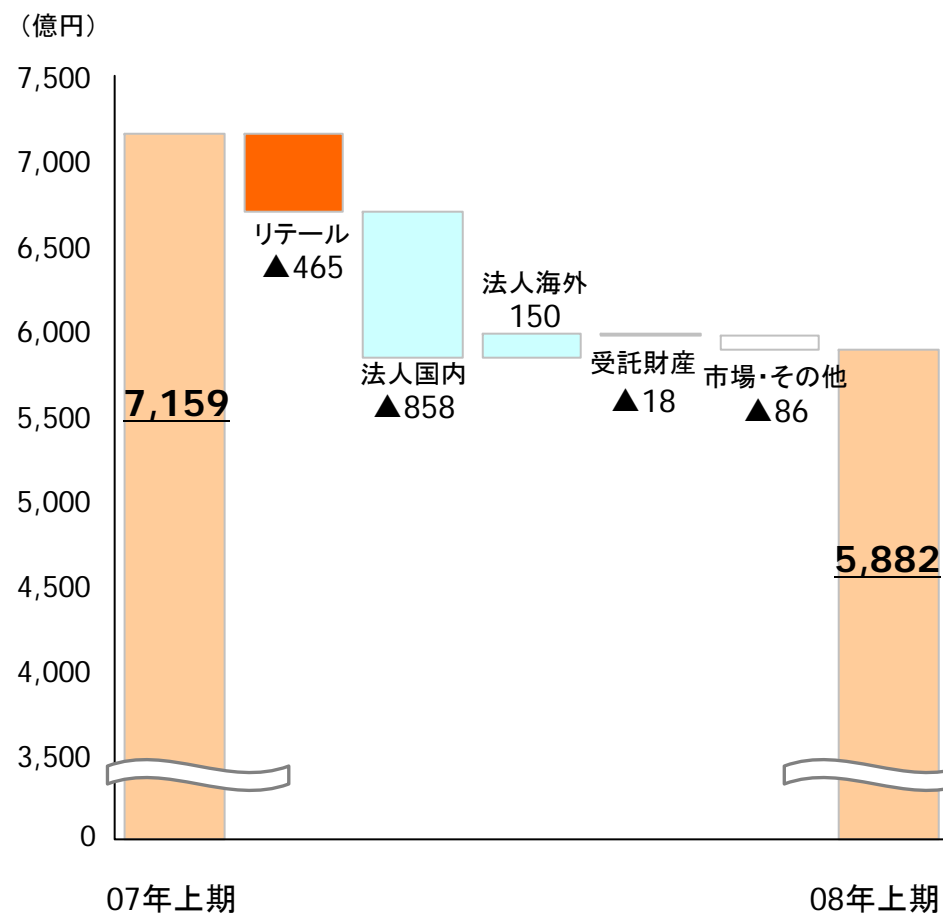


- リテール、法人国内の減少を主因に営業純益は前同比▲1,276億円

部門別営業純益*1



営業純益増減内訳*1



*1 内部取引消去等連結調整前の管理ベースの連結業務純益

●貸出金

- 海外貸出を中心に増加

●預金

- 国内法人預金、海外店預金を中心に減少

●有価証券

- 株価下落に伴う時価減少により、株式等を主因として減少

●開示債権

- 開示債権の増加により、開示債権比率は1.28%に上昇

●その他有価証券評価損益

- 株式含み益の減少を主因として評価益が減少

●自己資本比率

- 有価証券含み益の減少を主因に自己資本比率はやや低下

<連結B/S>

(単位:億円)

	08年3月末	08年9月末	増減
1 貸出金(銀行勘定+信託勘定) [貸出金(銀行勘定)]	887,976 [885,388]	906,762 [904,451]	18,786 [19,063]
2 うち国内法人貸出*1*2	494,501	485,549	▲8,951
3 うち住宅ローン*2*3	173,582	172,350	▲1,232
4 うち海外貸出*4	176,704	204,737	28,032
5 有価証券(銀行勘定)	408,516	386,713	▲21,803
6 預金	1,213,073	1,197,983	▲15,089
7 うち個人預金(国内店)	625,947	626,722	775
8 国内預貸金利回り差 (2行合算)	(07年下期) 1.48%	(08年上期) 1.44%	▲0.03%
9 金融再生法開示債権*2	10,585	12,182	1,597
10 開示債権比率*2	1.15%	1.28%	0.13%
11 その他有価証券評価損益	10,048	2	▲10,046
12 連結自己資本比率 (Tier1比率)	11.19% (7.60%)	10.55% (7.63%)	▲0.64% 0.02%

*1 傘下銀行から持株会社宛の貸出金を除く

*2 2行合算+信託勘定

*3 08年上期の証券化実績:387億円

*4 海外支店+ユニオン・バンク・コーポレーション+BTMU(中国)

貸出金・預金

【連結】



●貸出金残高は90.6兆円に増加
(08/3比+1.8兆円)

<08/3比増減の主要因>

- 海外貸出*1 +2.8兆円
- 国内法人貸出 ▲0.8兆円

*1 海外支店+ユニオン・バンカル・コーポレーション+BTMU (中国)

*2 銀行勘定+信託勘定

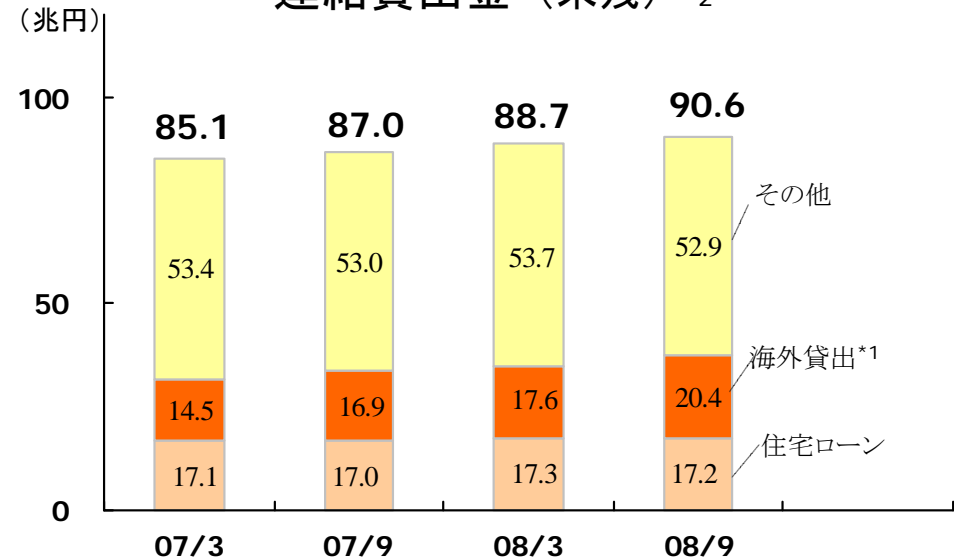
●連結預金残高119.7兆円
(08/3比▲1.5兆円)

<08/3比増減の主要因>

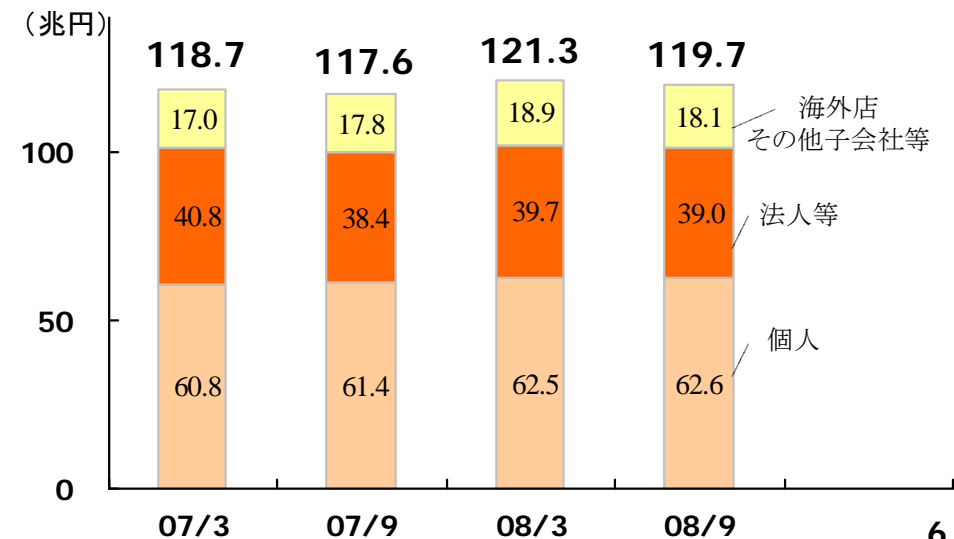
- 個人預金 +0.0兆円*3
- 法人等預金 ▲0.7兆円
- 海外店預金 ▲0.7兆円

*3 20/9末より個人預金に関する集計方法を一部変更。現在の集計方法での20/3末における個人預金残高は61.8兆円(08/3末比0.8兆円増加)

連結貸出金(末残)*2



連結預金(末残)



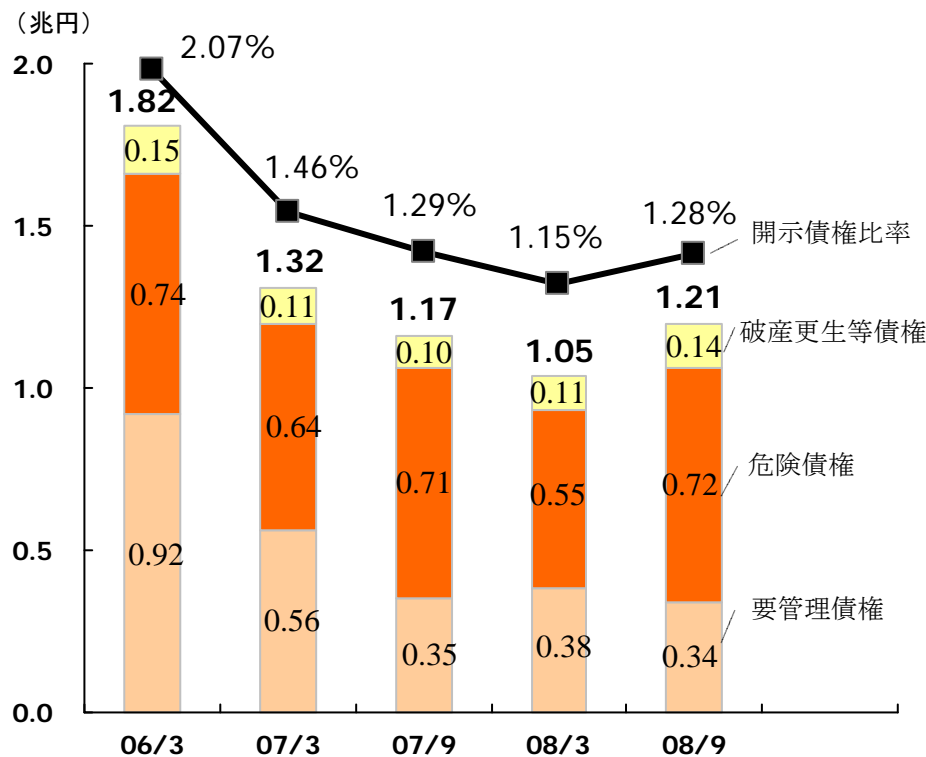
貸出資産の状況

【連結・2行合算】

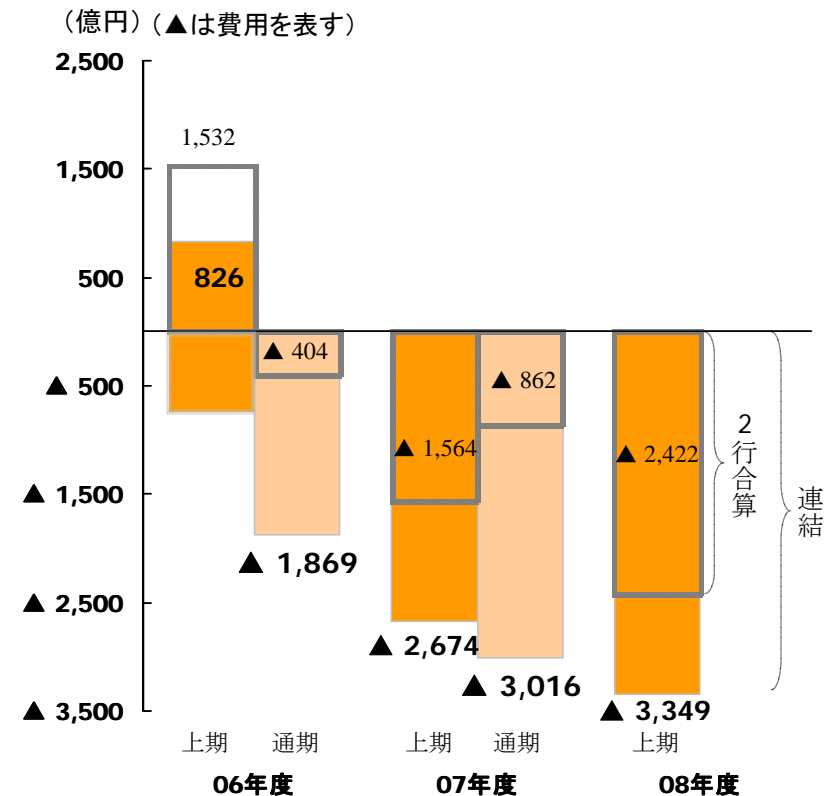


- 債務者区分の下位遷移による危険債権の増加等により、開示債権比率は08/3末比0.13ポイント上昇の1.28%
- 与信関係費用は2行合算で2,422億円、連結では3,349億円の費用計上

金融再生法開示債権残高(2行合算)



連結与信関係費用



保有有価証券の状況

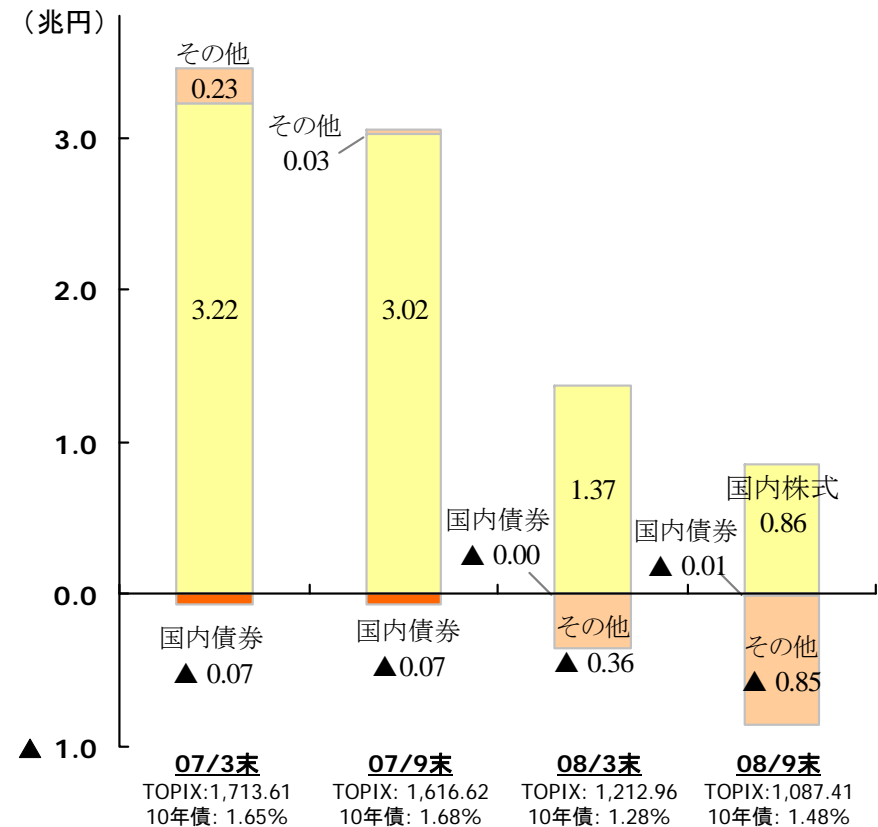
- 国内株式の評価益減少および証券化商品などその他の評価損拡大により、その他有価証券全体の評価損益は08/3末比約1兆円減少し、略ゼロに

その他有価証券(時価あり)の内訳

(億円)

	9月末残高	評価損益	
			08/3末比増減
合計	343,291	2	▲10,046
国内株式	50,109	8,606	▲5,172
国内債券	176,586	▲104	▲15
その他	116,596	▲8,500	▲4,857
外国株式	1,441	270	▲681
外国債券	72,139	▲1,027	▲819
その他	43,015	▲7,742	▲3,356

その他有価証券評価損益の推移



保有証券化商品等の状況

【連結】



- 証券化関連商品の残高は約3.1兆円(08/3末比▲0.2兆円)

保有証券化商品の概要(08/9末)

(1) 残高及び評価損益 (億円)

	残高	評価損益		評価 損益率
		3月末比	3月末比	
1 RMBS	5,200	▲ 930	▲ 1,050	▲20.2%
2 うちサブプライム	1,410	▲ 410	▲ 380	▲27.1%
3 CMBS	350	▲ 80	▲ 10	▲2.5%
4 CLO	20,110	▲ 700	▲ 3,390	▲16.9%
5 その他(カード等)	5,130	▲ 60	▲ 490	▲9.6%
6 CDO	370	▲ 220	▲ 60	▲17.4%
7 SIV	30	▲ 30	0	▲11.4%
8 合計	31,180	▲ 2,010	▲ 5,010	▲16.1%

(2) 格付別残高分布 (億円)

	AAA	AA	A	BBB	BB以下	無格付
9 RMBS	4,620	300	280	0	0	0
10 うちサブプライム	1,220	180	0	0	0	0
11 CMBS	210	90	40	10	0	0
12 CLO	17,340	1,020	1,440	260	40	20
13 その他(カード等)	2,790	380	460	1,430	30	30
14 CDO	190	110	50	0	10	0
15 SIV	0	0	0	0	30	0
16 合計	25,160	1,890	2,270	1,700	110	50
17 比率	81%	6%	7%	5%	0%	0%

証券化商品

- 証券化商品投資の残高は、売却・償還を主因に3.12兆円に減少(08/3末比▲2,010億円)
- 同評価損益は、▲5,010億円(08/3末比▲1,830億円)、評価損益率は▲16.1%(08/3末比▲6.5ポイント)
- 当中間期の損益(P/L)への影響額は、RMBSの売却損を中心に▲410億円の損失
- AAA格は約81%

注 米GSE等が組成・保証するモーゲージ債・住宅金融支援機構債等の本邦住宅ローン証券化商品、投資信託ファンドで保有している証券化商品は含まず。残高は減損後、評価損控除前。10億円刻みで表示(億円単位で四捨五入)

(単位:億円)

		08年3月末	08年9月末
1	自己資本比率	11.19%	10.55%
2	Tier 1比率	7.60%	7.63%
3	Tier 1	82,937	83,804
4	うち優先出資証券	12,403	13,703
5	Tier 2	44,418	37,660
6	うち有価証券含み益	4,624	—
7	自己資本	122,158	115,902
8	リスクアセット	1,090,756	1,097,891
9	信用リスク部分	1,009,622	1,015,364
10	マーケットリスク部分	21,476	23,202
11	オペレーショナルリスク部分	59,656	59,324

● 自己資本額

- 株価下落に伴う有価証券含み益の減少等により、0.6兆円減少

● リスクアセット

- 海外貸出の増加に伴う信用リスクの増加を主因に0.7兆円増加

〔採用手法〕

- 信用リスク: 基礎的内部格付手法 (FIRB)
- オペレーショナルリスク: 粗利益配分手法

- 自己資本比率は10.55%、Tier1比率は7.63%

【業績予想】

〔連結〕

		2008年度通期	
		中間期実績	
1	連結経常収益	29,251億円	59,000億円
2	連結経常利益	1,881億円	6,000億円
3	連結当期純利益	920億円	2,200億円

【配当金予想】

		中間配当金	期末配当金 (予想)	年間配当金 (予想)
1	普通株式1株当たり 配当金	7円	7円	14円

〔三菱東京UFJ銀行(単体)〕

		2008年度通期	
		中間期実績	
1	実質業務純益	3,595億円	7,800億円
2	経常利益	378億円	2,900億円
3	当期純利益	250億円	1,200億円

〔三菱UFJ信託銀行(単体)〕

		2008年度通期	
		中間期実績	
1	実質業務純益	785億円	1,450億円
2	経常利益	534億円	1,050億円
3	当期純利益	319億円	550億円